

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：商工費 項：観光費 目：観光開発費

事業名【新】福井・滋賀連携観光振興事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

観光国際部 観光資源活用課 広域連携係 電話番号：058-272-1111(内3933)

E-mail：c11337@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 3,000 千円 (前年度予算額：0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	3,000	0	0	0	0	0	0	0	3,000
決定額	3,000	0	0	0	0	0	0	0	3,000

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

今後中部縦貫自動車道(福井県内区間)や東海環状自動車道(岐阜県内区間)の全線開通により、滋賀県・福井県との三県による交通ネットワークループが完成する。これを見据え、一乗谷朝倉氏遺跡博物館や越前大野城などを有する福井県及び安土城考古博物館や彦根城などを有する滋賀県と連携し、戦国・武将観光をはじめとした三県にまたがる観光資源を通じ相互誘客および広域周遊観光の実現を目指す。

(2) 事業内容

①周遊アプリラリーの実施

岐阜県の関ヶ原古戦場・岐阜城、福井県の一乗谷朝倉氏遺跡・越前大野城、滋賀県の安土城考古博物館・彦根城といった、三県の歴史施設や観光資源の周遊を促進するアプリラリーを実施。

②戦国・武将関連イベントへの相互出展

三県の戦国・武将関連イベントへ相互出展し、それぞれの観光資源をPRする。

(3) 県負担・補助率の考え方

広域的な連携及び県内への誘客促進は県の事業であり、県負担は妥当。

(4) 類似事業の有無

- ・戦国武将観光福井県連携事業費（観光資源活用課）※廃止
- ・戦国武将観光滋賀県連携事業費（観光資源活用課）※廃止

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	3,000	①周遊アプリラリーの実施 ②戦国・武将関連イベントへの相互出展
合計	3,000	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

「清流の国ぎふ」創生総合戦略

3 地域にあふれる魅力と活力づくり

(2) 次世代を見据えた産業の振興

④世界に選ばれる持続可能な観光地域づくり

岐阜県観光振興プラン

(2) 国・他県の状況

連携事業を実施する福井県及び滋賀県においても、同額要求。

(3) 後年度の財政負担

三県による広域観光ループを構成する、令和6年度の東海環状自動車道（岐阜県内区間）、令和8年春の中部縦貫自動車道（福井県内区間）の全線開通を見据え、今後も継続的に事業を実施する。

(4) 事業主体及びその妥当性

広域的な連携及び県内への誘客促進は県の事業であり、県負担は妥当。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

<input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業
<input type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

戦国・武将観光を切り口とした相互誘客と広域周遊観光の推進により、観光入込客、宿泊客を増やし、観光産業の振興ならびに地域の活性化を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R9)	達成率
①観光消費額		2,702億円	2,900億円	3,100億円	3,600億円	75.1%
②観光入込客数 (実数)		4,263万人	4,750万人	4,800万人	5,300万人	80.4%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	
令和3年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和4年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) <small>3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない</small></p>	
(評価) 3	<p>三県における戦国をテーマとした博物館のオープン・リニューアルや、交流人口増加が期待される自動車道の開通など三県の戦国・武将観光及び周遊観光の機運の高まりを受け、観光の基幹産業化に向けた三県共同の積極的な取り組みを進めていく必要がある。</p>
<p>・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) <small>3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない</small></p>	
(評価)	
<p>・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) <small>2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている</small></p>	
(評価) 2	<p>事業効果を上げるため、共同プロモーションを実施する福井県・滋賀県や、戦国・武将観光資源を有する県内市町村と連携して事業を推進する。</p>

(今後の課題)

<p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 共同プロモーションを実施する福井県及び滋賀県や、戦国・武将観光資源を有する県内市町と連携した積極的な取り組みが必要である。</p>

(次年度の方向性)

<p>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 三県による広域観光ループを構成する、令和6年度の東海環状自動車道（岐阜県内区間）、令和8年の中部縦貫自動車道（福井県内区間）の全線開通を見据え、今後も継続的に事業を実施する。</p>
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課</p>	
<p>組み合わせる理由 や期待する効果 など</p>	